

問 水田活用の直接支払交付金の見直しについて本市の考えは。

答 地域の実情や課題を踏まえ、慎重な検討と適切な対応がなされるよう国に対して要望を継続していく。

鹿角市の農業ビジョンについて

問 農業従事者の人材確保や若手農業経営者の育成が課題と思うがその対策は。

答 国の資金援助のほか、県やJAとの連携による技術指導など、就農から営農定着まで一体的にサポートしている。市独自の研修支援や人材育成塾開設のほか、人材確保の一環として農業インターシップへの登録により農業法人への雇用就農を図っている。

鳥獣対策について

問 捕獲された熊肉等を鹿角の名産ジビエにするなど活用方法はないか。

答 熊の捕獲数は多くて年間70頭ほどで



答 文化財等の補助金については、その目的に沿って必要な支援を行っている。新たな支援の要望がある場合は、各団体と協議のうえ検討していく。

問 文化財保存事業について保存会等に対して保存や育成を目的に一定の補助金の交付ができないか。

採算性の確保には絶対数が非常に少ない状況にあることから、加工施設などを整備し、捕獲された肉を特産品として活用することは考えていない。

質問した項目
■鹿角市の農業ビジョンについて
■鳥獣対策について
■文化財保存事業について
■湯の駅おおゆについて



録画配信はこちらから

湯瀬 誠喜 議員 (鹿山会)

質問時間 30分

質問した項目
■市の入札事務について
■定期監査について
■かつのパワーの経営について

問 一連の官製談合事件の公判で業者間談合の常習化も明らかになったが、市の対応方針は。

答 真相究明は捜査当局や司法の場と認識しているため、公正取引委員会等の調査へ協力するとともに、第三者委員会の報告をもとに適切に対応策を講じたい。

市の入札制度について

問 契約締結にかかる議案資料に、入札落札率や最低制限価格等に関する説明が含まれるべきではないか。

答 議会及び市民への説明責任を果たすとともに、議会の審議による透明性確保のため、入札調書の情報を含め、審議に必要な事項を資料に追加する。

定期監査報告について

問 定期監査報告書記載の指摘事項に対する改善の成果を評価できる仕組みを構築すべきではないか。

答 各部署の取り組みと成果にかかる自己評価結果を再度検証・評価することは、監査の有効性を確保する上で重要であることから、改善措置が客観的に評価できる仕組みを検討する。

かつのパワーの経営について

問 かつのパワーと契約している公共施設の電気料金の負担は、東北電力と比べて年間約700万円の増額見込みと伺ったが、今後明確な実績額を提示するべきではないか。

答 かつのパワーの事業推進について理解を得るためにも、実績について議会に報告していく。



録画配信はこちらから

笹本 真司 議員 (無会派)

質問時間 30分

